

岐阜県立吉城高等学校

校長 田村 宣和
 学校住所 飛騨市古川町上気多 1987-2 電話 0577-73-4555

- 1 会議の名称 岐阜県立吉城高等学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|---|---|
| 委員 | 春見 和美
駒 卓弥
関口 秀隆
能登部 緑
前川 文博 | 吉城福祉協議会評議員
飛騨古川青年会議所理事長
関口教材店代表取締役
本校卒業生の母親
飛騨市森林組合職員
(委員名は五十音順) |
| 学校側 | 田村 宣和
大矢 晋
森 勝彦
滝村 昌也
高ノ山裕一
藤守 学 | 校長
教頭
事務長
教務主任
生徒指導主事
進路指導主事 |
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成23年6月28日（火） 14:00～16:00 吉城高校 会議室
委員5人と学校側6人が出席
- 5 会議の概要

テーマ 吉城高校の現状と今年度の取組について

- 学校側 資料に沿って各分掌から現状と課題、本年度の取組等を説明した。
- 意見1 少人数の授業が数多く展開されていたが、どのように分けているのか。
- 学校側 習熟度によって分割している授業と、進路希望に応じて科目選択させている授業がある。今年度は習熟度による分割授業を増やしている。
- 意見2 4階の教室はたいへん暑かった。せめて扇風機が天井にあればと思った。
- 学校側 3年生が夏季休業の補習に使う部屋については、今年度からエアコンを設置する予定である。各教室については、予算の関係もあって難しい。
- 意見3 いい意味で「ざくばらん」な印象の授業風景であった。先生方の研修の場はどうなっているか。
- 学校側 公開授業週間で互いの授業を見合い、メモを交換することを義務づけている。また、飛騨市の中学校の教育研究会に参加したり、他県の先進校を視察したりしている。生徒による授業評価も、先生方の授業改善の動機付けになっていると思う。
- 意見4 登下校時の自家用車での送迎について、どのような指導をしているか。また、自転車通学者の雨天時のカッパ着用については、どのような指導をしているか。
- 学校側 地域住民の方のご意見もあり、坂の下の、しかも交差点から30メートル以上離れた場所での乗降車をお願いしている。カッパについては、数年前までは規定がなかったが、現在は100%着用させている。

意見 5 携帯電話の使用について、学校ではどのような指導をしているか。また、保護者や生徒への緊急連絡の手段はどうなっているか。

学校側 持ち込みは禁止していないが、マナー指導は徹底して行っている。
緊急連絡については、メールによる一斉連絡を行っている。登録率が 100 %ではないところが課題であり、今後とも機会あるごとに登録を呼びかけたい。

意見 6 携帯電話のマナーの指導については親の責任だと思うが、学校と親との間でマナーについてやりとりはあるか。

学校側 フィルタリングのような一般的なことは4月当初にお願いしているが、個別の問題については後手後手に回っているのが現状である。使用マナーが悪い生徒については「預かり指導」を行い、その都度家庭に連絡するといった具合である。

意見 7 昨年度の評議員会で指摘させていただいた広報の件は、「吉高ニュース」の発行によってすごく良くなった。回覧されてくるのを保護者の方も喜んでいると聞く。できればカラーだとなお良い。

学校側 評議員会のご指摘を受けて精一杯改善した点であり、そういう声はたいへん励みになる。飛騨市全域に回覧しており、カラー化は予算的に難しいが、今後とも内容を充実させていきたい。

6 まとめ

本校が地域の方々に温かく見守っていただいていることを再確認できた。昨年度の評議員会の成果である「吉高ニュース」については、今後とも月一度の発行を目指して地域に吉城高校の情報を発信していきたい。